



法人（事業所）理念	悩んでいる人、必要としている人に、すすんで心を手を開きます						
行動方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもに備わった育つ偉大な力を追求します</li> <li>2. 出会う全ての子どもや保護者とふれ合いをととして、心身の健康の向上に努めます</li> <li>3. どんな時でも同じ目線で、喜びも悲しみも共有します</li> </ol>						
支援（療育）方針	1. 遊んでたら療育されちゃった！？						
	遊びを通じて“からだ・こころ・あたま”の土台を育み、自然な関わりの中で生きて生きる力（社会力）を身につけます。 SSTも日常の遊びに組み込み、楽しく無理なく習得、あそびながら学ぶことがゆう療育のカチです。						
	2. 笑顔のシャワーを提供します！						
	保育実践の権威、河添邦俊教授の理論を基に笑顔あふれる関わりの中で、発達の道すじに沿った身体づくりや遊びを提供します。 笑顔は心を整える万能薬、スタッフも心から笑える場を大切に、そのぬくもりが広がっています。						
	3. 自己決定・自己選択のすすめ						
やり遂げる達成感や満足感や自信に、人の役に立つ体験は責任感や協調性に、小さな成功体験は意欲を育みます。 これらの自己肯定感、自己有用感、自己効力感を得るために子どもが選び決める機会を活動の中であらゆる場に設け、丁寧に寄り添いながら支えています。							
活動時間	児童発達支援	(平日のみ) 9:00 ~ 15:00		営業時間	9:00~18:00	送迎時間	要相談
	放課後等デイサービス	(学期中) 14:30 ~ 17:30 (学校休業日) 9:00 ~ 17:00					あり
支援内容							
本人支援	5領域	分類	ねらい	具体例（SSTを用いてのスキル習得の一部）		ゆう活動	
	健康・生活	健康	心身の安定した状態を保ち、活動への意欲を育てる	食事（お弁当やおやつ）・睡眠・体調管理・身だしなみ		登所	
		生活習慣	日常生活を自立して行う力を育てる	トイレの使い方・着替え・持ち物管理・整理整頓			
		安全	危険を予測・回避し、自分の身を守る力を育てる	交通や使用のルール学習・避難訓練・危険なものの判断		イベント	

本人支援	運動・感覚	粗大運動	全身を使った動きで身体の発達を促す	体ほぐし・雑巾がけ・サーキットなど、あそびながら全身運動	体ほぐし・雑巾がけ
		微細運動	手先の器用さを高め、日常生活に必要な動きを育てる	アイロンビーズ・折り紙・ボタン付けなどの指先あそび	創作活動
		感覚統合	感覚の刺激反応から感覚と感覚の相互作用へとつなげる	BBT（バランス覚・ボディ覚・タッチ覚）を中心にしたあそび	遊具あそび
	認知・行動	注意	周囲に意識を向け、集中を持続する力を育てる	集中して話を聞く・課題に取り組む・指示を聞く	ゆうタイム（座学）
		記憶	情報を保持・活用する力を育てる	ルール実践・手順の確認理解・見通しの立った段取り	
		自己調整	感情や行動を適切にコントロールする力を育てる	イライラ対処・気持ちの切り替え・我慢や緩和の仕方	
	言語・コミュニケーション	理解	言葉を聞いて内容を理解する力を育てる	与えられた指示の理解・質問への応答・適切な内容理解	ゆう会議
		表出	自分の思いや必要を適切に伝える力を育てる	読み聞かせなど（言語・非言語を含めたコミュニケーション）	
		対話	相手とやりとりを続ける力を育てる	あいづちなどの他に会話あそび（しりとり・カタルタ）など	自由時間
	人間関係・社会性	関係構築	他者と信頼関係を築く力を育てる	あいさつ・友だちを誘う・自己紹介	
		集団適応	集団のルールを理解し、行動できる力を育てる	順番を守る・協力する・ルールあそび	外活動・内活動
		共感理解	他者の気持ちや立場を理解する力を育てる	相手の表情を読む・気持ちに気づく・謝る	読み聞かせ
家族支援	サービス記録や送迎時、モニタリングを通しての小まめな情報共有			移行支援	保育所・放課後児童クラブ等への移行支援及び連携
	親の会などを通してのペアレント（ティーチャーズ）・トレーニング				地域とのつながり(保育所や児童館、地域住民との交流・行事等)
	ご家族のニーズに応じた個別相談援助（きょうだい児含む）				ライフステージの切替えを見据え、進学先・就労先との情報共有
地域支援・地域連携	教育機関・医療機関・児童相談所等の専門機関と情報連携			職員の質の向上	積極的な研修参加と法人グループ内の勉強会（研修復命会）実施
	相談支援事業所や併用先など他の福祉機関と情報連携				振り返り・フィードバックの場として、毎日の午後イチ会議
	地域イベントに参加し、社会とのつながりを持つ機会を増やす				虐待防止や感染症や制度など、外部講師を招いての講習会開催
主な行事等	「季節を感じ、文化を学び、自然と触れ、人と関わりながら五感を育む」のコンセプトで年間を通して、子どももスタッフも学びに繋がるイベントを計画しています。				
	春（3～5）	ひなまつり、ひな飾り、お花見、収穫体験（にんにく・玉ねぎ）、卒業パーティー、避難訓練 など			
	夏（6～8）	七夕、夏祭り（おみこし・出店）、水あそび（プール）、収穫体験（夏野菜等）、ハイキング、流しそうめん、科学実験、文化学習（腹話術等）、買い物体験 など			
	秋（9～11）	お月見、収穫体験（さつまいも）、焼いも、ゆうミニ運動会、市内探検、湖畔散策（榛名湖・赤谷湖）、避難訓練、公共マナー学習 など			
	冬（12～2）	クリスマス会、収穫体験（白菜・大根）、雪あそび（ソリ・かまくら・雪合戦等）、お正月あそび（凧あげ・福笑い・上毛かるた等）、節分、足湯、門松 など			
	市内外を問わず、新五感（バランス覚・ボディ覚・タッチ覚・聴覚・視覚）を意識した公園あそびの場（38か所）を工夫したローテーションで利用しています。				